

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		読谷型観光の振興事業	H24 ～ H33					
1	①	景観形成事業	H24 ～ H28	読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のため、ヤチムンの里地区を景観地区に指定する。 また、座喜味地区においては意見交換等を行い、景観地区(案)を作成する。	(ヤチムンの里地区) ・景観地区の指定に向けた法定手続を進める (座喜味地区) ・意見交換又はヒアリング(2回)	(ヤチムンの里地区) ・景観地区の指定 (座喜味地区) ・景観地区(案)の作成		・ヤチムンの里地区及び座喜味地区において、景観地区の指定を行う。
1	②	読谷観光・物産アピールとスポーツコンベンション誘致促進事業	H24 ～ H33	読谷村のスポーツ施設の状況や受け入れ体制のアピールをするとともに読谷村の観光資源や特産物をPRするイベント(仮称「読谷デイ」)を実施することにより、キャンプの継続実施とキャンプ開催時期における誘客を図る。	・誘致PRイベントにてPR演舞(11回) ・集客イベントの開催(1日) ・観光PRチラシ作成3,000枚	・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者(40,000人) ・集客イベントの来場者数(2,000人) ・観光PRチラシ配布3,000枚		(今後の展開方針等) 当事業は平成33年度まで予定しており、今後もスポーツキャンプ継続誘致のため下記のとおり事業を実施予定。 ・伝統芸能の披露 ・観光PR映像の上映 ・読谷村PRブースの設置 ・観光PRチラシ等の配布 ・各プロスポーツチーム等に対する誘致活動 ・読谷村観光大使の活用
1	③	危険生物駆除事業	H25 ～ H33	危険生物として駆除の対象となっているハブの咬症被害が、本村においても毎年のように発生し、村民はもとより観光客が被害にあう事例も発生している。また、これまで近隣市町村でのみ捕獲された攻撃性の強いタイワンハブの捕獲事例が本村でも発生しており、その蔓延を防ぐためにも早期の駆除活動の強化が必要である。来村する観光客や行楽客、そして村民をハブ咬症から守るため、捕獲器を設置し継続的なハブの捕獲、駆除により個体数を減らすとともに、より安全な観光地を目指す。	村内に捕獲器を400基設置し、巡回する	・捕獲数:100匹/年		・ハブ捕獲器400基の設置、巡回、駆除、移動業務 ・マウス(ハツカネズミ)の飼育
1	④	ヨミタンJOHO発信事業(読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業)	H25 ～ H33	那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。 また、周波数を明示した読谷村観光情報紙を空港やレンタカー事業所等に配布し、聴取機会の向上を図る。	FM放送を活用した観光情報の提供 チラシ 100,000枚作成	・FM放送番組の制作・放送(毎日) ・チラシ 100,000枚配布		(今後の展開方針等) H33年度までFM放送番組の制作・放送を継続する予定

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	⑤	世界遺産座喜味城跡管理活用事業	H25～H29	読谷村(沖縄県)には歴史文化の代表的シンボルである世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群(座喜味城跡)」を筆頭に、様々な歴史的文化的遺産が存在する。これらを重層的に活用し、冬場の観光客の減少時期の観光客の誘導を狙う。	・座喜味城跡のライトアップの実施 ・座喜味城跡ガイドリーフレット印刷 ・城壁清掃の実施 ・入場者計測の実施	・座喜味城跡のライトアップ 来場者数150人/日 ・座喜味城跡ガイドリーフレットの配布 45,000部 ・座喜味城跡の入場者計測日数(3回:計21日)	(今後の展開方針等) H27年度:座喜味城跡の模型の作製 ～H29年度:ライトアップ及び座喜味城跡の美化	
1	⑥	ヨミタンブランドカパワー・アップ大作戦事業	H25～H30	読谷村そのものや読谷村で生産される、ヤチムン、織物等の伝統工芸品や農水産物及び加工品等のいわゆる読谷村の特産品をトータルで読谷ブランド品と位置づけ、その良さを全世界に発信するための取り組みを行う。 平成26年度は、平成25年度事業において決定したブランドキャッチコピー、ロゴ、イメージキャラクター等を活用したプロモーション活動を展開していく。	・イメージキャラクター着ぐるみの作成 ・プロモーション事業の検討	・イメージキャラクター着ぐるみの完成 ・プロモーション事業の実施(3事業を予定)	(今後の展開方針等) H30年度までブランドキャッチコピー、ロゴ、イメージキャラクター等を活用したプロモーション活動を展開する予定	
1	⑦	読谷村スポーツコンベンション誘致促進施設整備基本計画策定事業	H26	平成24年度に策定された第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用計画に示す運動施設の整備を進めるにあたり、本村及び沖縄県が推進するスポーツコンベンション等のスポーツと観光の融合を視野に入れた施設の整備を計画的、効果的に推進するため、各施設の整備計画を定めるなど、業務執行の指針を策定する。	村民センター地区内の運動施設ゾーンの施設整備計画及び施設規模、施設利用計画等の検討	基本計画の策定完了		
1	⑧	読谷まつり運営事業	H26	地域の伝統文化を継承・創造・発展するため、村民総参加により開催している読谷まつりを村内、県外等へ広くPRするとともに観光誘客へ繋げるため、40周年の節目として第40回読谷まつり開催する。	まつりの開催日数:3日 (平成25年度 まつり開催日数:2日)	来場者数:10万人(H25:7万人/2日) 県外団体受入:7団体(H25:3団体)	地域に根ざした産業、経済、文化、芸術の発展を目指し、まつり実行委員会と連携し、村民総参加、手づくりのまつりを継続実施する。	7月変更(事業追加)
1	⑨	スポーツコンベンション誘致促進事業(設備等強化事業)	H26	体育施設における利用者のニーズが高い設備等を設置し、利便性の向上を図るとともに、スポーツコンベンションの誘致促進に寄与する。	スポーツコンベンションに係る設備等発注	スポーツコンベンションに係る設備等設置完了	(設備等の活用方法) プロのスポーツ等のキャンプや大会開催等に活用する。 ○スポーツキャンプ(プロ、実業団等) H24:6チーム(実績) H25:8チーム(実績) H28:10チーム(目標)	10月変更(事業追加)
1	⑩	読谷村地域振興センター(仮称)整備事業	H25～H27	読谷補助飛行場跡地における主な課題である「農業を主体とした6次産業化」、「情報の共有と発信による地域振興」の解決を図るため農漁工商の連携による地域振興と交流拠点づくりのため「読谷村地域振興センター(仮称)」を整備する。	建築工事の実施(延べ床面積:3,355㎡)	建築物(地域振興センター)の一部完了(進捗率35.5%)	(今後の展開方針等) H27:工事(残り部分) H27.8:完成 観光案内所や、FMラジオ・インターネット動画配信を使った観光情報の発信を行い、観光振興に資する。また、キッチンスタジオ等での村産農産物等を使用した商品開発や、村産品の販売等により年間利用者数168,000人を目指す	10月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2			共に学び、共に育つ場づくり事業	H24 ～ H33					
2	①		小中学校情報教育支援員配置事業	H24 ～ H33	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置する。	情報教育支援員配置 小学校(5校):2名 中学校(2校):1名	情報教育支援員を小学校(5校)、中学校(2校)で3名配置し、ICT関連機器の活用のため、児童生徒、教員へのサポートを行う。	(今後の展開方針等) H25～H33年度までの配置支援員数(累計)26名	
2	②		日本語教育支援員配置事業	H24 ～ H33	二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行う。	日本語教育支援員配置 小学校(5校):2名	日本語を習得していない外国籍児童や二重国籍児童及び帰国児童への対応でクラス全体の授業の進捗に影響が生じているなどの教育現場の課題解消に努めるため日本語教育支援員2名を配置する。	(今後の展開方針等) H25～H33年度までの配置支援員数(累計)18名	
2	③		小中学校学習支援員配置事業	H26 ～ H33	小中学校において学習に遅れが生じている児童・生徒を対象に、自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解し、確かな学力の定着を図るため、授業内容をきめ細やかにサポートする学習支援員を配置する。	学習支援員配置 小学校(5校):5名 中学校(2校):2名	担任教諭、算数・数学指導教諭と連携し、算数・数学等の学習に遅れのある児童生徒への支援を行う。	(今後の展開方針等) H26～H33年度までの配置支援員数(累計)56人	
2	④		特別支援教育支援員配置事業	H26 ～ H33	各幼稚園・小学校・中学校に在籍している、園児・児童・生徒で特別な支援が必要な子たちへの個別支援を行い、対象児に合わせた学校生活を送れるようにする。	・特別支援教育支援員 幼稚園(5園):5名 小学校(5校):10名 中学校(2校):4名 ・特別支援教育専門指導員:1名 ・特別支援教育推進員:1名	支援が必要な子に合わせた支援を行う事で、在籍中の困り感をなくし、また、自立へ向けた支援を行う事で、通常学級への復帰、社会適正能力を高める。	(今後の展開方針等) H26～H33年度までの配置支援員数(累計)168人	
2	⑤		中学校ICTパソコン教室機能強化事業	H26	学校教育に資する学校教育用パソコンを中学校へ導入し、情報化社会に対応する上で必要な知識・技能の習得を図る。また、教科の中で活用することにより効率的な知識の習得定着に役立てる。	【中学校】 読谷中学校…41台の購入 古堅中学校…41台の購入	教育用PCを読谷中学校へ41台、古堅中学校へ41台設置整備する。	ICTを活用する上で必要な知識・技能の習得及びICTを活用した学習機会の充実を図る。	7月変更(事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	⑥	小中学校日除け休憩所設置事業	H26	村内小中学校の屋外運動場に日除けになる休憩所を設置することにより、児童生徒等の熱中症予防を図る。	【小学校】4校に設置 喜名小:1箇所 古堅小:1箇所 古堅南小:2箇所 渡慶次小:1箇所 【中学校】2校に設置 読谷中:2箇所 古堅中学校:2箇所	屋外運動場内に日除け休憩所を中学校へ4箇所、小学校へ5箇所、計9箇所に設置完了(設置率:100%)	体育や課外活動等において活用を図る。	10月変更(事業追加)
3		駐留軍用地跡地利用推進事業	H24 ~ H29					
3	①	楚辺通信所跡地実施設計等支援委託事業	H24 ~ H29	平成25年度作成の楚辺通信所跡地予備設計等支援委託業務報告書に基づき、地区計画の実施に向け実施設計等支援委託業務を実施する。	楚辺通信所跡地実施設計の実施	楚辺通信所跡地実施設計の完了	H25年度:予備設計 H26年度:実施設計 H27~H29年度:工事開始及び完了	
3	②	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定事業	H26	平成25年度実施の楚辺通信所跡地シムクガマ整備・保全基礎調査委託業務報告書に基づき、楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定業務を実施する。	楚辺通信所跡地にあるシムクガマの戦跡・カー森広場整備に向けた規模等を検討する	楚辺通信所跡地シムクガマ戦跡・カー森広場整備基本計画策定業務報告書の完成		
3	③	読谷補助飛行場返還の碑整備事業	H26	平成25年度に実施した読谷補助飛行場返還の碑基本計画策定業務に基づき、整備事業を実施する。	読谷補助飛行場の返還を記念した返還の碑整備工事の実施	読谷補助飛行場返還の碑の完成		
3	④	読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計等支援委託事業	H25 ~ H26	平成25年度に実施した読谷補助飛行場跡地地区広場(基本計画)策定業務に基づき、地区広場の実施設計等支援委託業務を実施する。	読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計の実施	読谷補助飛行場跡地地区広場実施設計の完了		

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	⑤	読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計策定事業	H26	読谷補助飛行場跡地における赤犬子・展望広場及びロードパークの基本計画について、今後密接に連携する国道バイパスや区画整理地との整合を図るため、基本設計を行う。	赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計の実施	赤犬子・展望広場及びロードパーク基本設計委託業務報告書の完成	平成27年に国道バイパスとの調整を行う。また、国道バイパス及び区画整理事業の進捗状況に合わせて、実施設計、工事を行う。	7月変更(事業追加)
3	⑥	嘉手納弾薬庫地区一部返還跡地(国道東南部地区及び周辺)都市計画決定図書等作成支援事業	H25～H26	多様な環境資源を保全する事で大規模駐留軍用地跡地等の利用推進を図るため、昨年度作成した説明書に基づき、公園と緑地の予定地にかかる都市計画道路を一部変更する事に向けた法定手続図書の作成を行う。	・都市計画決定図書等作成支援業務の発注	・当該地区のまちづくりや、豊かな自然河川と遺跡地区の保全活用の指針をとりまとめる。	H26都市計画図書作成 H27都市計画事前協議・変更 H28土地区画整理地内公園及び周辺設計・施工計	10月変更(事業追加)
4		地域文化の創造発展事業	H24～H28					
4	①	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	H24～H28	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、読谷村の自然・歴史・文化資源等を調査・整理し、さらに集めた情報を共有・発信・活用できるように再整理する。	3地区の自然、歴史、文化資源等の調査	文化財ガイドマップ設置完了:3箇所	(今後の展開方針等) 各字文化財ガイドマップ設置数 H24年度:3箇所、H25年度:3箇所、H26年度:3箇所、H27年度:3箇所、H28年度:4箇所(合計16箇所)	
4	②	座喜味城跡駐車場整備事業	H25～H26	世界遺産座喜味城跡への来客者の利便性を図るために駐車場を整備する。	駐車場工事	駐車場(普通車約30台収容)の整備完了	(今後の展開方針等) 建設予定のユンタンザミュージアムの駐車場として活用する。	
4	③	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業	H24～H29	国内外へ読谷村をアピールし、県外・海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理を行う。	H25年度調査報告書作成。被調査者の調査、記録テープ反訳等の整理。八重山現地調査(第1回目)	・H25年度調査報告書完成 ・記録テープ数(100本)の反訳原稿の整理	(今後の展開方針等) H27年度:南洋郡島及び南米各国、八重山現地調査 H28年度:南米各国現地調査、全体まとめ H29年度:HPより情報発信	

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	④	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業	H25 ～ H29	沖縄語で伝承されてきた民話を調査・整理し、沖縄語に親しめる教材(絵本やDVD等)を製作する。また、これらを村内幼小中学校や図書館へ配布し、学校や家庭での活用を推進する。	民話調査・整理	絵本「読谷の民話(5話)」の発刊 DVD「読谷の民話(5話)」の発刊	(今後の展開方針等) H29年度までに絵本5種、DVD5種の製作	
4	⑤	沖縄戦後教育史・復帰関連資料整理活用事業	H26 ～ H27	本村が所有する歴史的価値の高い戦後の教育や復帰運動に関する資料を整理し、デジタル保存するとともに、デジタルアーカイブとしてインターネットで公開を行い、沖縄の戦後史に関する学習や調査研究の機会充実を図る。	・目録の作成 ・資料のデジタル化	・資料のデジタル化:500箱	H27年度 ・資料のデジタル化 500箱 ・デジタルアーカイブの公開	
4	⑥	ユンタンザミュージアム建設事業	H26 ～ H29	観光振興・地域振興を図るため、世界遺産座喜味城跡と連携した魅力ある博物館を建設し、世界遺産ガイドランスとして博物館機能の強化拡充を行う。	・基本設計の実施	・基本設計の完了	H27年度:実施設計 H28～29年度:工事開始及び完了(予定)	
5	①	中学生海外ホームステイ派遣事業	H25 ～ H33	本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会に貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現のため、中学生12人を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	短期留学費の補助:12人	海外短期派遣生徒数:12人	(今後の展開方針等) 海外短期派遣生徒数(累計) H33年度:108人	
6	①	長寿調査検証事業	H25 ～ H26	地域の高齢者を支えるボランティア(レク担当、調理担当、健康チェック担当)と役場職員総勢30名を長寿日本一の長野県に派遣し、高齢者の生きがいづくり、食生活、健康づくりへの取り組み等、長寿日本一の地域や病院等を視察し、各公民館で行われているミニデイサービス「ゆいま～る事業」の充実と地域の健康基盤づくりの調査検証を行う。	派遣総数30名 (地域ボランティア:27名 役場職員3名(保健師等))	・調査報告会の実施(「ゆいま～る事業」を実施しているコミュニティ等:21カ所) ・報告書の完成	(今後の展開方針等) H26年度:30名派遣 H25～H26年度:60人(累計) 報告会を通して、地域の中高年層を主に介護予防や生活習慣病予防の重要性を認識させる活動に取り組む	
7		地域資源を活かした農業推進事	H25 ～ H29					

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成26年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

読谷村		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		H26成果目標(指標)	備考	
パ	細				H26事業内容	H26活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
7	①		地産地消推進を図る生産施設設置事業	H25 ～ H29	年間を通じた多様な野菜を安定的に生産できる環境の構築により、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や、「食と農」を通じた地域観光のイメージアップや農業振興を図ることを目的として、JA等が設置する栽培施設の設置費の一部を補助する。	栽培施設設置補助	・栽培施設の設置:面積3488.6㎡(予定) ・導入農家:7人(予定)		
8	①		航空機騒音常時観測システム購入事業	H26	米軍機から発生する航空機騒音を測定する装置を設置する。	航空機騒音常時観測システムの購入	航空機騒音常時観測システムの設置 1箇所		7月変更 (計画変更に伴う成果目標変更)
9	①		地域にあったものづくり支援事業	H26 ～ H28	読谷村の特産品や商品を県内外へPRするために物産展等への出展し販路拡大を図るとともに、本村地域資源を活用した新たな特産品づくりを調査するため、読谷村商工会へ補助を行う。	県内外物産展への出店及び調査補助	出店数(開発支援含):5件	(今後の展開方針等) 県内外物産展への出展及び調査補助	
10	①		読谷村工芸品県外プロモーション戦略事業	H26 ～ H33	今後のヤチムン(琉球陶器)の持続的発展をめざし、県外マーケットにおいてマーケティングを行うとともに、若手作家の作品を中心にプロモーションを行い、販路拡大や人材育成を図る。	テストマーケティングの実施 展示会の開催	・次年度以降のプロモーション戦略等効果検証 ・展示会出店作家 15人	(今後の展開方針等) 展示会への出展支援	
11	①		読谷村都屋漁港水産物展示販売等施設基本設計事業	H26	読谷村、唯一の漁業協同組合である読谷漁協の所在している都屋漁港に水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)を整備するため、基本設計を行う。	水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)基本設計の実施	水産物展示販売等施設(荷捌き所、直売店等の複合施設)基本設計の完了	(今後の展開方針等) 他補助事業において実施設計、建築工事を行う	10月変更 (事業追加)

H26活動目標(指標):平成26年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H26成果目標(指標):平成26年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。